

令和5年度国立国会図書館職員採用試験における出題ミスについて

令和5年5月27日に実施した令和5年度国立国会図書館職員採用試験（総合職試験・一般職試験（大卒程度試験）、障害者（係員級）採用試験（大卒程度試験））の専門試験（記述式、物理学（共通問題））において、以下のとおり、出題ミスがありました。

受験者に対して多大なご迷惑をかけましたことを深くお詫びいたします。今後は、このようなことがないよう、再発防止に努めます。

1 出題ミスの内容

① 問題3（4）の前提条件となる文中（iii）の \hbar が抜けていました。

(誤)	$L_z = -i \frac{\partial}{\partial \phi}$
(正)	$L_z = -i\hbar \frac{\partial}{\partial \phi}$

② 問題3（4）の問題文に記載されている f のうち2か所が、正しくは ψ でした。

(誤)	波動関数 $\psi(r, \theta, \phi) = f(r)e^{-i\phi} \sin\theta$ がこの系の固有状態のとき、ある正の整数 n において $L_+^n f(r, \theta, \phi) = 0$ となる。 n を求めよ。また、この n において $L_+^n f(r, \theta, \phi) = 0$ となることの物理的な意味を説明せよ。
(正)	波動関数 $\psi(r, \theta, \phi) = f(r)e^{-i\phi} \sin\theta$ がこの系の固有状態のとき、ある正の整数 n において $L_+^n \psi(r, \theta, \phi) = 0$ となる。 n を求めよ。また、この n において $L_+^n \psi(r, \theta, \phi) = 0$ となることの物理的な意味を説明せよ。

2 採点の取扱い

問題3の小問（4）については、問題3を選択した全員を正解として取り扱います。

3 受験者への周知

物理学を受験して問題3を選択した受験者（各試験の合計で3名）に対し、出題ミスをお詫びするとともに当該問題について受験者全員を正解とする旨を通知いたします。また、同様の内容を、国立国会図書館ホームページにも掲載いたします。

4 今後の対応策

今回の出題ミスを反省し、試験問題の点検体制を強化し、試験問題の誤り防止策を徹底するなど、適正な試験問題の作成に努めてまいります。

●本件問合せ先

総務部人事課 那須、安田 03-3506-5294 (直通)